

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|--|--|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 4 | ・運営推進会議において、自然災害時や徘徊対策等に備え、地元消防団員や駐在所員の参加しない。 | ・運営推進会議に、地元消防団員や駐在所員に参加して頂く事で、地域との繋がりを一層深めると共に、災害や徘徊時に備えた議論を行い安全対策の強化を図る。 | ・運営推進会議に地元消防団員や駐在所員の方々に参加して頂き、今後、施設運営する上で安全対策についての指導・助言を頂き、日々のケアに反映するよう努める。 | 3ヶ月 |
| 2 | 33 | ・年1回、心肺蘇生救急法やAED使用方法について研修を行い、緊急連絡体制も整備しているが、急変時の対応に不安なく介護が出来るまでには至っていない。 | ・全介護職員が急変時に統一した介護が提供出来るよう、体制の見直し(急変時の対応法や指針の見直し)を行う。また、研修へ参加する事で介護職員が自信を持って対応出来るよう努める。 | ・全職員で指針の見直しを行う。また、御家族や本人様の意向を再確認し、職員間で情報共有する。 ・年1回、「心肺蘇生法やAED使用方法について」に加え「急変時の対応について」園内研修を実施する。 ・園内研修に加え、看取りや急変対応における対応についての外部研修へ参加する。全介護職員へ伝達講習を行う。 ・介護職員と看護師間で、看取りや急変対応について意見交換を行い、介護職員の不安や出来る事、出来ない事を確認する。 | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。